別紙

令和５年度東京都立中野工科高等学校（定時制課程）学校運営連絡協議会実施報告書

1　組織
（1）都立中野工科高等学校　学校運営連絡協議会（定時制制課程）
（2）事務局の構成　主任教諭(教務主任兼務)＝事務局長、教務部員３名　計４名
（3）内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主任教諭(教務部主任)、主任教諭（生徒部主任)、主幹教諭(進路部主任、計６名
（4）協議委員の構成
近隣中学校長１名、地域消防署関係者代表１名、地域保護司関係者１名、地域代表１名、計４名
2　令和５年度学校運営連絡協議会の概要
（1）　学校運営連絡協議会
第１回　日　時　令和５年６月２１日（水曜日）　１６：００～１７：００
出席者　内部委員６名、協議委員４名
会　場　本校校長室
内　容　学校長挨拶、(委嘱状交付)、
委員紹介、学校運営連絡協議会の趣旨説明
評価委員の選出、評価委員長の決定
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題（副校長）
本校の現状と課題について（教務部、生徒部、進路部）
協議、意見交換
第２回　日　時　令和４年１１月３０日（木曜日）　１６：２０～１６：５０
出席者　内部委員６名、協議委員４名
会　場　本校校長室
内　容　学校長挨拶
評価委員報告（学校評価のアンケート内容の検討、確認）
本校の現状と課題について（教務部、生徒部、進路部）
今年度の取組（副校長）
協議、意見交換
第３回　日　時　令和６年３月２１日（木曜日）　１６：２０～１７：００
出席者　内部委員６名、協議委員４名
会　場　本校校長室
内　容　学校長挨拶
学校評価のアンケートの結果
本校の現状と次年度に向けた課題について（教務部、生徒部、進路部）
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
（2）評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
第１回　日　時　令５年１１月３０日（木曜日）　１６：００～１６：２０
出席者　内部委員２名、協議委員２名
会　場　本校校長室
内　容　学校評価の基本方針の確認
昨年度の学校評価結果の分析と考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討
今年度の学校評価の観点・項目
第２回　日　時　令６年３月２１日（木曜日）　１６：００～１６：２０
出席者　内部委員２名、協議委員２名
会　場　本校校長室
内　容　今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3　学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（1）学校評価の観点　「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

（2）アンケート調査の実施時期・対象・規模

・１１月　全校生徒　　対象：２１人　　回収：　２０人　　回収率：　９５％

・１２月　保護者全員　　対象：２０人　　回収：　１７人　　回収率：　８５％

・１２月　教職員　　対象：１７人　　回収：　１７人　　回収率：１００％

（3）主な評価項目

評価項目については、昨年度と比較検討するために多くの項目を同一とする。

生徒の学校生活の充実度、教職員の授業への取組、学校運営、生活指導、進路指導、特別活動

健康・安全、施設・設備、ライフ・ワーク・バランスの推進

（4）評価結果の概要

・生徒の８５％が本校の学校生活について満足しているという回答が得られている。しかし、グループ給食と給食時間の変更に伴い給食受給者が減少している。来年度から給食費が無償化になるため、受給率向上が見込まれる。

・保護者も生徒が学校生活を楽しく過ごしていることを認識していている。しかし本校の教育内容、生活指導内容等の認識があまり理解させていないことが分かった。

（5）評価結果の分析・考察

・充実した学校生活を送らせるために「わかりやすい授業」「基礎、基本を大切にする授業」「充実した学校行事」を推進していく。

・保護者からの信頼度をさらに高めるために「生徒の適正や希望などを生かした進路指導」を推進していく。

4　学校運営連絡協議会の成果と課題

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・学校通信、ホームページ、SNS 等を活用し広く地域等に本校の活動成果を発信していく。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

・地域の人材活用を一層推進するとともに防災教育、セーフティ教室等の充実を図る。

5　学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

（1）学校運営

・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針、内容等を説明し理解を得る。

・基礎・基本の学力定着を図るとともに、多様な体験学習や特色ある専門教科を通じて、生徒が自らの適性を探し進路を選択させる。

（2）学習指導

・就職・進学に結びつく学力の基礎・基本を定着させる。

・ICT 授業を積極的に推進し、さらに使用回数を増やす。

（3）特別活動

・年度当初に部活動紹介、体験等を実施し、部活動加入率を高める。

（4）生活指導

・基本的生活習慣を育成するとともに、規範意識をもった生徒を育てるため教職員一丸となって生活指導の徹底に努める。

（5）進路指導

・４年間の系統的なキャリア教育の全体計画を策定する。

（6）健康・安全

・家庭とも協力して基本的な生活習慣が身につくように指導していくとともに、交通安全教室、セーフティ教室、薬物乱用防止教室等を引き続き実施して、健康な生活が送れるよう指導する。

6　「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

（1）　協議委員人数　４名

（2）　学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない
4	0			

7　職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

なし

8　その他

・協議委員に授業見学の機会を設けられるようにする。

・学校評価アンケートの設問内容を検討する。